

# 7月豪雨による災害復旧に向けて

非常に活発化した梅雨前線により、市内では、7月10日夕刻から降り始めた雨が、15日午後3時には、総雨量が東厚保で588mmを観測し、特に15日未明には、1時間当たりの降水量が50mmを超える、私たちがかつて経験したことのないほどの激しい雨をもたらしました。

これにより家屋の損壊・浸水300戸、道路被害100箇所、河川被害80箇所、裏山崩壊120箇所、農地損壊150箇所、農業用施設損壊250箇所、また、水道施設の冠水による4,800世帯の断水等未曾有の災害が発生しました。

この突然の豪雨による被災から約2週間が経過したところでありますが、この間、各被災地を確認し、その被害の甚大さに愕然としております。

特に河川の急激な氾濫により家屋や車中に取り残される危機的状況からの間一髪の救助で、大きな人的被害がなかったことが実に奇跡的なことであったと感じております。

しかしながら、家屋をはじめ農地、山林、道路等に生じた近年に類を見ない壊滅的打撃を受けた被害は、記憶としてではなく事実として現存しております。

未だ復旧の目途が立たず、被災生活を余儀なくされている方々並びに本災害による被害に遭われました方々に対しまして衷心よりお見舞いを申し上げます。

これまでの災害復旧作業に当たっては、人命を最優先に考え、ライフラインの確保に努めて参ったところでありますが、上水道施設を中心とした冠水等によります水道の断水や、その後の一部地域での水道水の濁り等、市民多くの皆様に多大なご負担をおかけしましたことをご容赦いただきたいと思います。

また、被災直後からかつて経験のない事態にもかかわらず、美祢市社会福祉協議会のご助力によります迅速なボランティアセンターの設置を見るに至り、これに伴います市民の方々を中心とした皆様の善意により、延べ約700名にも及ぶ多くのボランティアの方々にお力をいただきました。

道路清掃やゴミ収集活動、被災家屋の土砂撤去や炊き出し、避難所援助など、まさに地域の力を結集してのご支援を賜りましたことに対しまして、心からの敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。

現在、全力を尽くし復旧作業に取り組んでおり、道路などの交通幹線となるラインの復旧、二次災害防止工事など、国、県と連携を図り、復興のための足場を固めつつあります。

しかしながら被災箇所が多方面にわたり頻在し極めて深い傷を受けておりますので、山林・農地や施設の復旧を含め、かなりの時間を要す状況となっております。

市といたしましても被災された方々の支援のため、土砂の撤去作業に係る助成制度や農林業の復旧支援制度などに取り組み、最善の復旧活動に全力を挙げて努めて参りたいと考えております。

今暫くの間、市民の皆様には、引き続きご負担をおかけすることとなりますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

豪雨の上がりと同じくして梅雨が明け、夏本番となりました。日中は大変な猛暑が続いております。被災者並びに地域の皆様の疲れも頂点に達しておられるのではないかと心配いたしております。

どうか、健康には充分ご留意いただき、被災された皆様と地域の、そして美祢市の復興のため、今暫くのご協力、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年8月1日

美祢市長 村田 弘司

